

施策・事業の効果を分析 反省を改善につなげる

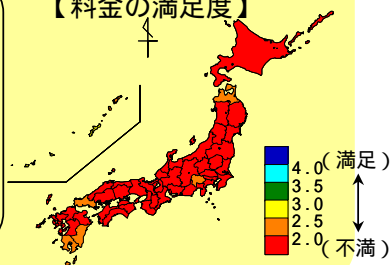
例【規格の高い道路を使う割合】

〔13%(H14)から13%(H15)へとほぼ横ばい〕

規格の高い道路に自動車交通を分担させることで、幹線道路の渋滞、生活道路の事故、沿道の騒音等を改善する

- ・「有料道路の料金」は満足度調査11項目中で最低の評価
- ・有料道路は敬遠傾向
有料区間：交通量
約80万台キロ減少

【料金の満足度】

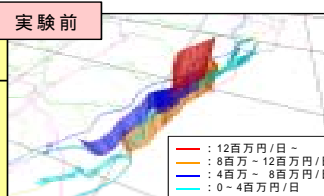


施策・事業の効果を分析

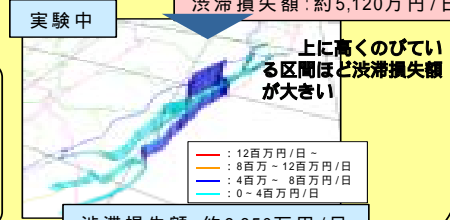
弾力的な料金設定の効果を確認

【例：常磐道(日立地区)】

- ・1ヶ月間の料金半額の料金社会実験
- 1日あたり約60万円の料金割引による収入減
- 1日あたり約1,500万円の渋滞緩和効果



実験前 渋滞損失額：約5,120万円/日

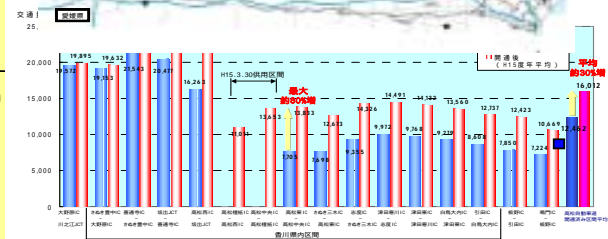
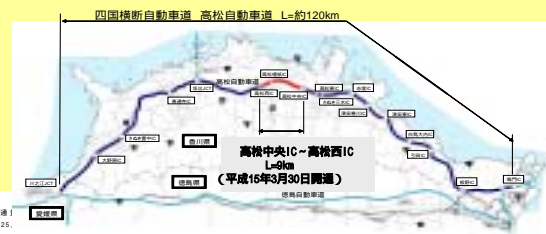


実験中 渋滞損失額：約3,650万円/日

とぎれた高速道路を結ぶことが、路線全体の利用促進に

【例：高松道】

- ・全線にわたり交通量が大幅に増加（平均約30%増加）



評価結果を次の行政運営に反映

有料道路の弾力的な料金設定の本格実施に向けた施策展開

高速道路等のネットワーク整備

反省を改善につなげる